



港区立高松中学校 学校だより<第3号>

令和4年6月9日 校長 鋳持 利行

創立1949年(昭和24年) <高松中生のあたりまえ>推進校 港区高輪1-16-25

共に手を携えて —いじめ防止強化月間— 一緒に考えましょう—

校長 鋳持 利行

6月4日(土)に、実施した『高松体育大会』。3年ぶりに、年度当初の計画通りに行うことができました。保護者の皆様には、早朝より、子どもたちの応援のために、ご来校いただき、本当にありがとうございました。

さて、東京都では、6月を「ふれあい(いじめ防止強化)月間」として、生徒、学校関係者に限らず、すべての都民がいじめ問題について理解を深め、いじめ根絶の方法等について考え、生徒たちが健やかに楽しい学校生活を送ることができるよう、みんなの力を合わせることを目的として進めています。

さて、新年度がスタートして、二ヶ月が過ぎましたが、お子様たちの様子はどうでしょうか。子どもたちは、ご家庭で、学校でのことを話していますか。今回の学校だよりでは、保護者の皆様に、次の三つのことをお願いしたいと思います。

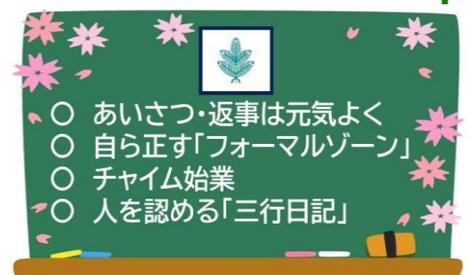
まず一つ目は、お子様に次のことを尋ねてほしいのです。①クラスの何人くらいと話ができているか。②授業や学級活動で、意見や自分の考えは言えているか。③学級の中に、自分の考えや意見を受け入れてくれる雰囲気があるか。これらに「おおむねOK」と答えた子どもは、新年度がうまくスタートがきれていて、今後の学校生活も楽しく充実したものとなると思います。答えが、はっきりしない場合は、話しをよく聴いてあげて、何か気付いたり、変だなと思われたら、担任や学年の先生方に遠慮なくご相談ください。

二つ目は、親の子どもへの関わり方です。例えば、○いつもと違った面を見てあげる。○できること、できたことをほめてあげる。○新しいことにチャレンジさせる。○自分で決めさせる場を与える。などです。思春期は、自立への準備期間です。上記のことは、その支援のために大切なことです。そして、基本的には、お子様に「つかず離れず 口は押さえて 目は離さない」で関わっていくとよいのではないかと思います。

三つ目は、保護者の『夢』をお子様にご語りあげてください。「ああしなさい、こうしなさい」と指示や命令だけでは、子どもは自立できません。時には、保護者の方の「子どもの頃の夢」や「親としての我が子への想い」を語りあげてください。そして、自分の夢を追いかけることの素晴らしさを教えてください。

中学生の頃は、相手の欠点やできないことを指摘したり、自分が優れている思い込んで相手を見下してしまうこともあります。本校では、『高松中生のあたりまえ』の一つとして「人を認める三行日記」に、日々取り組んでいます。人はそれぞれ、個性や価値観、長所や短所があります。自分にはない相手の個性や長所を認めることのできる心を、この思春期の間に、育てることを大切にして教育活動を進めています。

家庭と学校が、同じ歩調で関わっていけたら、お子様たちの素敵な成長があると信じています。子育てに、共に手を携えて頑張っていきましょう。保護者の皆様、改めて、よろしくお願いたします。



生徒総会



5月14日(土)、3年ぶりに体育館で、全校生徒がそろって生徒総会を行うことができました。生徒が総会の運営を行い、生徒が高松中学校をより良くするために、真剣に参加していました。

高松交流ガーデン



5月20日(金)10数名の保護者OB・保護者の方にお集まりいただき、美化委員とガーデニング部の生徒と一緒に『高松交流ガーデン』の花の苗植えと花壇の整備等を行いました。ありがとうございました。

高松体育大会

< 表彰一覧 >

- ◆ 競技の部
色別優勝 赤組 (1年2組・2年2組・3年2組)
- ◆ 競技の部
学年別優勝 1年2組、2年3組、3年2組
- ◆ 応援の部
最優秀賞 黄組 (1年4組・2年4組・3年4組)

「高松体育大会ポスター」

最優秀賞

優秀賞



(敬称略) 3年2組 ○○ ○○ 1年2組○○ ○○



(応援合戦) 赤組



青組



黄組



(キャリーボール)



(全員リレー)

体育大会実行委員として、色別に縦割りの学年となった応援団として、そして競技する生徒として、さらには係として支えた生徒としてなど、一人ひとりが全力で取り組み、活躍する場面がありました。今年は PTA から色別のスポーツタオルをいただき、応援席では色別に一体感がもてた高松体育大会となりました。